

# 私たちと一緒に声をあげよう！

## 過去最高の「2017年度期末決算」発表

J R 東日本会社は、4月27日に「2017年度期末決算」を発表しました。決算概要によれば、単体決算は増収増益となり、営業収益と運輸収入は6期連続の増収で過去最高を記録しました。また、当期純利益も過去最高となっています。連結決算においても増収増益となり、営業収益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が過去最高となりました。さらに、単体・連結決算ともに2017年4月に発表した「業績予想」を大きく超えています。

少子高齢化や生産年齢人口の減少など、取り巻く環境や構造の変化だけでなく、社員数が減少しているなか、昼夜を問わず日々「安全・安定輸送」「質の高いサービス」をつくりだし、着実に収益を積み上げてきたすべてのJ R 労働者の努力が「過去最高の業績に現れた」と言えます。

単体・連結ともに増収増益  
営業収益・運輸収入は過去最高を記録

<単体における業績等の比較> (単位：億円)

(東日本ユニオン調べ)

科目	2016年度期末決算	2017年度期末決算	対前年比	2017年度通期予想	実績差
営業収益	20,688	20,932	+244	20,790	+142
営業利益	3,886	3,951	+65	3,930	+21
経常利益	3,416	3,589	+173	3,510	+79
当期純利益	2,433	2,470	+37	2,470	±0

## 基準額は交渉して決定する

東日本ユニオンと会社の間で締結している「労働条件に関する協約」では、期末手当の基準額は「交渉して決定する」と定めています。つまり、期末手当（夏季手当・年末手当）の額は労働組合と会社の交渉によって決まります。

過去最高の業績に対して、過去最高の夏季手当を勝ちとるためには労働組合に力が必要です。その力とはJ R で働く労働者の結集です。今、各地で続々と東日本ユニオンに結集しています。私たち自身の手で実現させた過去最高の利益を、私たち社員一人ひとりに還元させるため、今こそ東日本ユニオンに結集しよう！

# 黙っていても勝ちとれない！今こそ東日本ユニオンに結集を！